

イネ紋枯病

【 学名 : *Thanatephorus cucumeris* 】



【被害と発生生態】

- ・ 発生部位…葉鞘, 葉身, 穂
- ・ 発生時期…7~8 月
- ・ 発生好適条件…22~34℃で湿潤状態が長時間連続する場合

【見分け方】

- ・ 形態 : 病斑は水ぎわ部に近い葉鞘に現われます。最初の病斑は楕円形で, 暗緑色水浸状。やがて, 周縁部が褐色で中央部は灰白色となります。

【防除のめやす】

- ・ 穂孕期の発病株率 : 早生品種 10%以上, 中生品種 20%以上。

【対策】

- ・ 密植や窒素肥料の過用を避け, 過繁茂にならないようにしてください。
- ・ 茎葉散布剤による防除適期は, 一般に病勢の進展が活発になる穂孕期ころです。